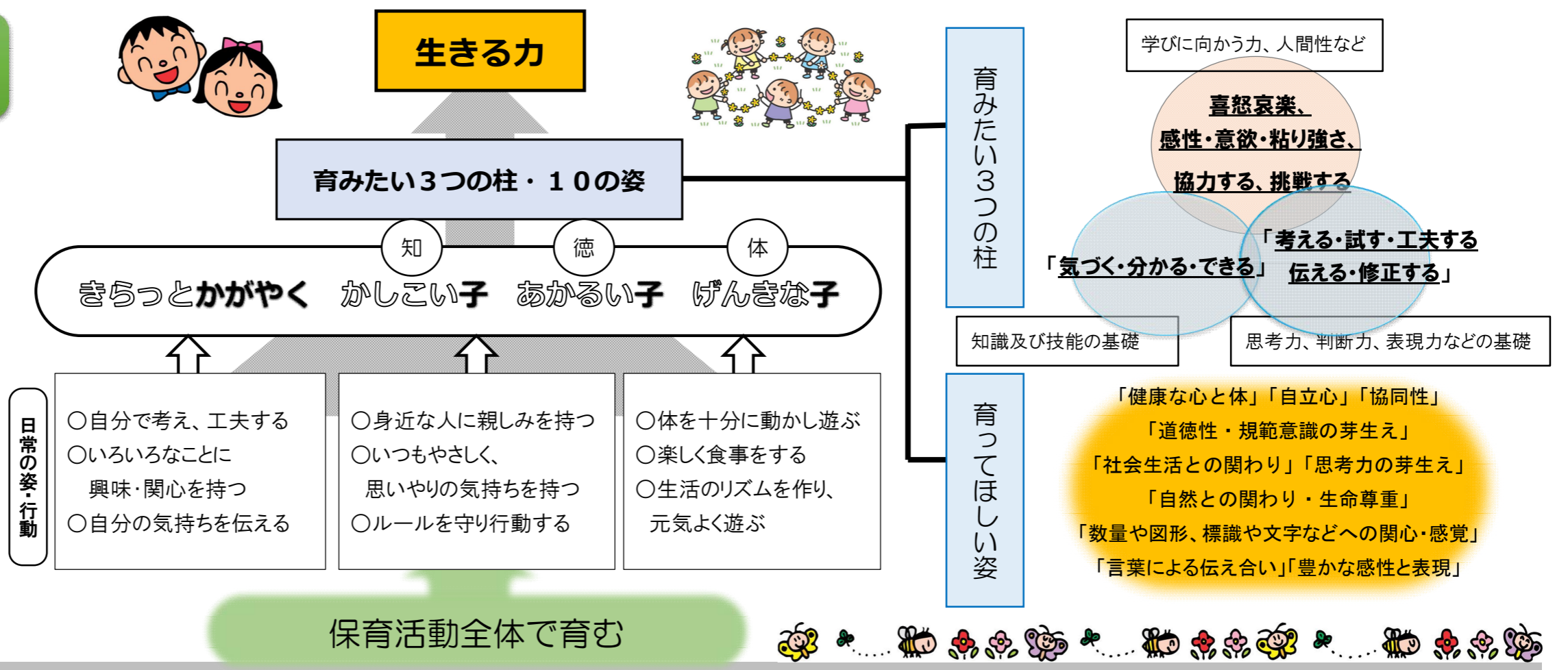


2026(令和8)年度
二セコ町幼児センター運営方針

家庭・地域との連携
 ◎毎日の登降園時や連絡ノート等を通し、子どもの成長発達を中心に有効な情報交換を行う。
 ◎親同士が交流したり、子育てについての情報交換をしたりなど保護者間の連携を深める懇談会の持ち方を工夫する。
 ◎ビデオやICTを活用して日常の子どもの姿を保護者と共有する機会を設ける。
 ◎CS(コミュニティ・スクール)等、地域の様々な教育資源を活用し、子どもたちが喜び楽しめる環境づくりを進める。
 ◎コドモンや保護者アンケート等を通して園と家庭との連携の充実を図る。



- ①「生きる力」の基礎となる幼児教育において育みたい3つの柱を、日常の遊びや生活、様々な体験等を通して一体的に育む。
 ●「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に、生活や遊びの中で1人1人の発達に必要な指導や援助を行う。
 ●幼児の生活経験を考慮し、一人一人の特性を理解し、発達の課題に即した指導を行う。
- ②毎日元気に体を動かす習慣を通し健康的でたくましい心身を育み、自ら健康で安全な生活をつくり出そうとする力を身につける。
 ●毎日の散歩や外遊び等から体を動かす楽しさを味わうと共に健康な体と意欲を育む。
 ●遠足や登山(年長)等の行事を通し、自然の中で十分に体を動かす気持ちよさを体験する。
 ●避難訓練等を通して安全への意識を高める。
- ③リズム運動の様々な動きの中から主体的に体を動かすことを楽しみ、バランスのとれた体を目指す。
 ●全クラスで年齢に応じた種目のリズムを取り入れ、ピアノの音に合わせて楽しく体を動かす。
 ●1日の初めにロールマットを行い、体の緊張をほぐすと共に健康状態を確認する。
 ●合同リズム、リズム発表会(年長)を開催する。
- ④絵本の読み聞かせを通して、本に親しむ習慣を身につけると共に、興味関心の幅を広げる。
 ●未満児クラス(0歳、1歳)は、1人ずつ絵本を毎日読み聞かせ、本に親しむと共に安心感・自己肯定感を育む。
 ●2歳児以上は集団での読み聞かせを行い、絵本の世界を共有し、読書への興味関心を広げる。
- ⑤様々な体験活動に取り組み、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。
 ●「英語タイム」(年中・年長)～小学校英語へのステップとして、遊びを通して英語の音やリズムに慣れ親しむと共に多様性への寛容力を育む。
 ●観劇・人形劇やコンサートなど様々な観賞機会や体験等を通して、豊かな表現や想像・創造する楽しさを味わう。
- ⑥自然や身近な動植物、季節の変化等に触れて関心を持つと共に好奇心、探究心を広げる。
 ●季節に合わせた遊びや製作活動に取り組み、自分の感じたこと等を表現する。
 ●七夕や焼き芋、もちつき会、ひな祭りなど四季折々の伝統的な行事を楽しみ、季節の変化と共に様々な文化に触れる機会とする。
- ⑦いろいろな年代の人との交流を通し人と関わる体験を積み、人への愛情や信頼感を育むと共に、自主・自立や協調への態度を養う。
 ●小学生や中学・高校及び大学生等との交流を通し将来に向けた自主・自立や協調の心を育む。
 ●お年寄りの方をはじめ地域の人とふれ合い、共感し合う体験を通して、人と関わる楽しさ、人の役に立つ喜びや家族愛を感じる心を育む。
- ⑧5歳児クラスは、架け橋期として小学校との連携の充実を図る
 ●小小連携会議及び幼小連携交流会をもとに接続の充実を図り、幼児児童の交流及び職員相互の協議等を進める。
 ●(小)スタートカリキュラム及び(幼)アプローチカリキュラムをもとに小学校接続の準備に取り組む。(就学前に身につけておきたい習慣等)

家庭との連携・協力

「安全・安心・楽しい幼児センター」を土台に

地域との連携・支援